

# ときめき人

Tokimeki bito



## 胸に秘めた 郷土愛 地元への恩返し は続く

南方町・柳沢

### 小野寺 悠さん

おのでら・ゆう  
1983年生まれ 血液型/O型

#### Profile

南方町出身。南方中学校卒業後、佐沼高校へ進学。高校卒業後、陸上自衛隊に入隊し、2年後に退職。20歳から、現在の職場で奮闘の日々。趣味は絵を描くこと。知人の結婚式のウェルカムボードの似顔絵などを手がけている。現職場のキャラクターは、小野寺さんがデザインし描いたもの。

南方町新一ノ曲地内にある「特定非営利活動法人どんぐりの家」で、介護福祉士として働いている小野寺さん。どんぐりの家は、障がい者や高齢者の生活介護サービスを提供する事業所。この仕事に就いて10年。現在では、利用者に握手を求められたり、小野寺さんのようになりたいと言われるなど、職場のアイドルのような存在です。

小野寺さんは高校卒業後、自衛隊へ入隊。しかし2年後に退職しました。再就職先を探するとき、頭に浮かんだのは古里登米市。「子どもの頃のことを思い出していました。地域の人たちに遊園地やバーベキューで遊んでもらったり、いろいろ面倒を見てもらったりしたなあって」。「自分を育ててくれた地元へ恩返ししたい」と登米市へのUターンを決意しました。

登米市に戻り、職探しをしていると気になった求人募集。それは現在の職のものでした。「どういった仕事をしてるか気になって」とアルバイトを開始。仕事にも慣れたある日、利用者の髪をドライヤーで乾かすと「ありがとう」と笑顔で言われました。アルバイトの自分に、まさかの感謝の言葉。この一言で人の役に立てたことを実感し、正式に入社を決め、現在に至っています。

6年前からは、消防団に所属。地元の消防団員から勧誘されました。「断りませんでした。大好きな地元を守るためなので」とにっこり。

今後の目標は、ケアマネジャーの資格取得。「仕事の幅を広げ、より良いサービスを提供し、地域で一番居心地のいい施設にしたい」と、地元への恩返しに終わりはありません。

## 編集後記

▼表紙右下にある「プラウドジャパン」のロゴマーク。東日本大震災後、静岡県東の広報担当者たちが「広報だからできる支援」として始めた運動だ。本当にありがたかった。今、自分にできることとして、このロゴを通して熊本、大分にエールを送りたい。(及川)

▼初めて一人で取材に行った先は、100歳を迎えた金野まさよさん宅でした。100歳になった今でも、よく体を動かすとのこと。自分は近くへの移動でも、車を利用してすることに恥ずかしくなりました。自分のため家族のためにも、面倒くさがらずに動こうと感じました。(千葉)

▼東北風土マラソン&フェスティバルの取材に行きました。回を増すごとにランナーや観光客が増えているのは、イベント性はもちろんのこと、本市を含めた東北の食や長沼フットピア公園周辺の景色が素晴らしいからだと思えます。このイベントで、地元の良さを再認識しました。(田代)



#### モバイルとめ

(携帯電話版ホームページ)  
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



#### 登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)  
<http://tomecity.mail-dpt.jp/>

